

一脾臓の悪性腫瘍とヘルニアに悩むミニチュアダックスのベルくん

エコー検査により、2つの影があり脾臓の悪性腫瘍があることが判明したミニチュアダックスのベルくん。

脾臓の全摘出は手術時間が短かったので身体への負担も少なく、インターネットで当院のことを知り、定期的な遠隔気功をおこない、現在は影もなくなりました。その後も定期的なエコー検査を受けています。

ベルくんは急に後ろ脚を痛がるようになり、足を地面につけることができなくなり、歩くのも困難になりました…。

ヘルニアなのか骨折なのかもわからず、どうぶつ気功院に相談し、動物病院のMRIでヘルニアであったことが判明し、腰への遠隔気功を続け、次の日にはビッコをひきながら、なんとか歩き回れるようになり病院ではこのまま消炎剤で様子見と2日分のお薬を出されました。

次の受診で院内を走り回り、5日分の薬を飲みきりで「もう来なくていいといわれました。しばらくはおしっこもうんこも歩きながらでした。1ヶ月もたたずに、すっかり良くなりました。

その後も定期的に気を送っていただいています。10歳過ぎていろいろ故障が出てくることもあると思いますが、治療院から遠いので先生に直接お会いしたことはありませんが話を聞いてくださったり、励まされたりで土本先生がいらっしゃるので安心して過ごさせていただいています。